



## 2017年3月11日(土)・12日(日) 天狗岳(2646m:北八ヶ岳)初日

Report by Kumamoto

当初計画は冬の安達太良山を予定しており、9名の参加予定者がいたが、中腹にある「くろがね小屋」に宿泊を2か月前に申し出たが、既に満員とのことで、急遽、「北八ヶ岳の天狗岳」一泊二日を代替案として8名の参加者を得て、山小屋の黒百合ヒュッテの予約が取れ、決行することが出来た。

今回の参加者は、吉松さん、能勢さん、高橋文さん、堀さん、池戸さん、初参加の安部さん、熊本に、紅一点の中島さんだ。



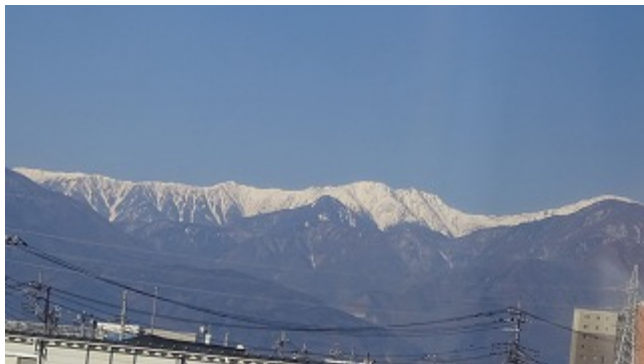
初日は茅野駅からバスで「渋の湯」奥蓼科温泉に入り、黒百合ヒュッテで一泊する。

翌日は、山小屋から東天狗、西天狗に登り、渋の湯まで戻るコースであった。

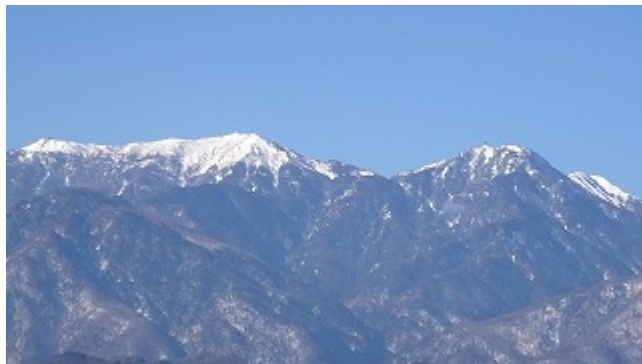


特急あずさ3号で茅野駅バス停 10:10 集合に、熊本は一本早いスーパーあずさ1号(新宿 7:00)で先乗りする。他者は新宿、八王子からあずさ3号で駆け付ける。中央本線は著名な山の間を縫って走るのので2時間の乗車は飽きない。





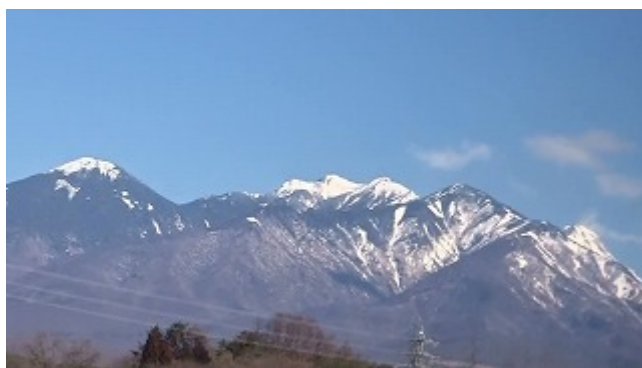
甲府駅に近づくと白根三山が



鳳凰山が快晴にクッキリと・・・



甲斐駒ヶ岳にも雲はなく・・・



南八ヶ岳の峰々が車窓を過ぎていく



10:05 茅野駅バス停 1 番乗り場に全員集合した。



初参加の安部さんと三回目になる池戸さん



何と、中島さんは 8 万円もする SCARPA の本格的登山靴を購入して今日が初卸である。  
既に冬山の魅力に取り付かれている。

10:25 発の「奥蓼科温泉郷 渋の湯行」のバスは満席となり、結局増発となった。市内には全く雪は見ることなく、右手に八ヶ岳を左手に霧ヶ峰（車山）を見ながらバスは進む。  
前方に、北八ヶ岳の天狗岳、北横岳や蓼科山等が見えてくる。



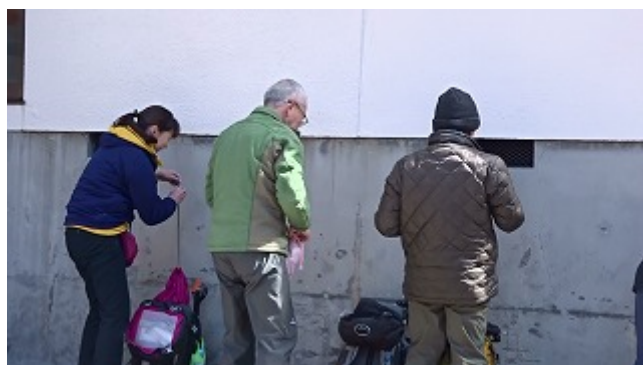


標高 1000m 位に高度をあがっても殆ど車道に雪はなかったが、1500m を過ぎるとやっと雪が見え、雪山に行く雰囲気が出てきた。



丁度 1 時間で、終点「渋の湯」の渋御殿湯に到着した。  
ここは標高 1880m

今日の行程は黒百合ヒュッテ  
(2400m) 泊まりで、  
標高差 520m の登りである。



出発前に、渋御殿湯の前で立ちながら個々に持参した昼食を取る。



昼食後、堀さんの掛け声に合わせて、ストレッチで股関節、膝、足首を解し登山準備を整える。

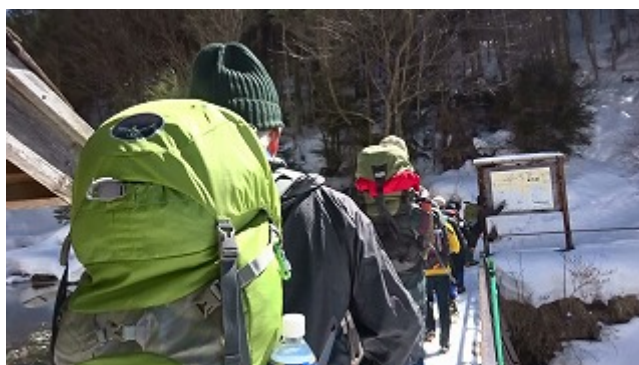




昼食、準備体操を終え、いよいよ黒  
百合ヒュッテに向け出発する。  
(11:45)



歩き始めて登山道はツルツルの雪道となり、早速アイゼンを装着する。

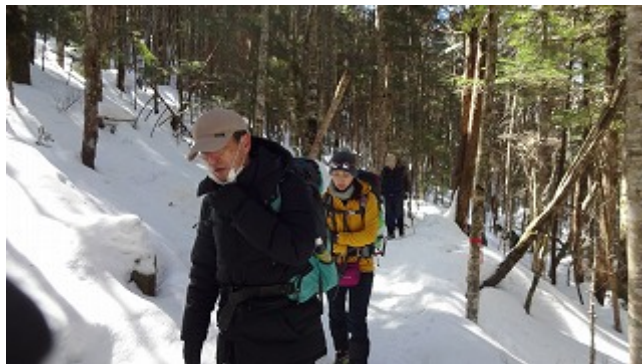


11:55 橋を渡りいよいよ山道に入る

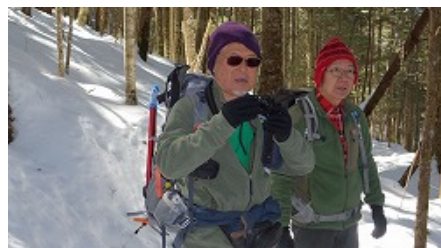


イキナリ、急登の連続となり体が温まる。





12:12 サラサラな雪質にアイゼンが気持ちよく食い込み快適に歩く。



30 分程登り、最初の給水タイム（12:15）



更に急登は続く



12:45 二回目の給水タイム



12:55 パノラマコースの八方台と天狗岳（黒百合ヒュッテ）分岐に出る。標高は既に 2000m を超えた。





パノラマコースに出て比較的緩やかな登山道になり一息つく。



13:17 陽当たりの良い広い場所に出て、三回目の休息を取る 既に標高は 2200m を超えている。



13:24 に唐沢鉱泉と黒百合平の分岐に出たが、我々は休まず黒百合平に向かって進む。



13:55 紺碧の青空が眩しい、標高 2300m 近く黒百合ヒュッテまであと、わずかだ。







池戸さんは大の汗かきで、流れるような汗が、帽子の底から流れ落ちるのだが、何と汗が凍ってツララになっていた。

体感的には寒さを感じていなかったが、気温は相当低いのだろう。



14:15 標高 2400m の黒百合ヒュッテに到着した。

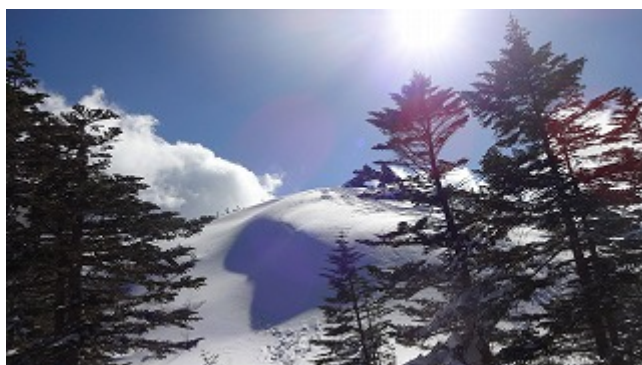
熊本はバテバテになり皆に 5 分遅れて到着した。

しかし、計画よりは 30 分早く、2 時間 30 分で登ってきた。



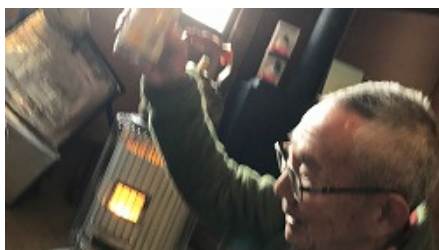
黒百合ヒュッテは定員 150 名であるが、今日は満員で、小屋前の広場にはテントの色とりどりの花が咲いていた。

この真冬の積雪期に満員とは驚きで、冬季天狗岳登山の人気振りが良く分かった。



山小屋の前で、今日の行程を終え、ホットー息。まだ陽は高い。先ずはチェックインしたが部屋の割り当ては 4 時からという事で、それまで 1 時間強もあり、早速食堂で一休みする。





缶ビールで乾杯し、赤ワインの後は3種類の日本酒（計1.3升）が瞬く間に空いてしまった。



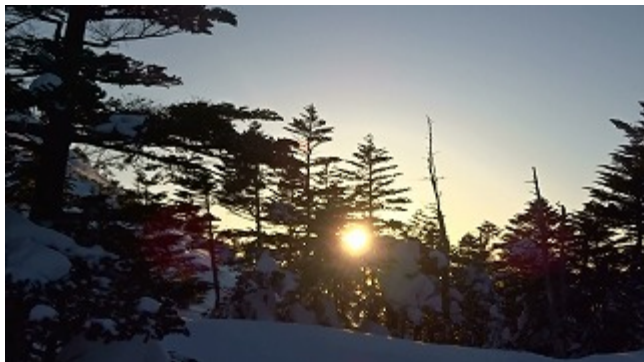
4時になり、部屋割りが行われ、一階は食堂、靴置き場、ザックその他の荷物置き場で、布団部屋は2階と3階で我々は二階の大広間であった。

我々の夕食は5時30分からで、まだ時間がタッブリあり、場所を変え土間のストーブを囲んで再び、飲み始める。



夕食前に、夕日の入りを見に外に出る。

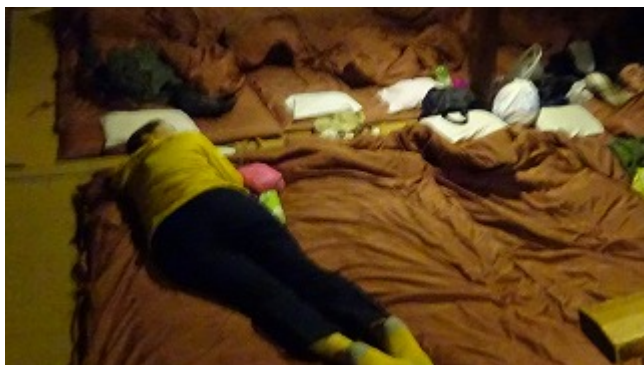




西に陽が沈むと、東の薄暮に満月が浮かんでいた。(17:30)



17:40 夕食はハンバーグだ。お腹が空いて完食。



お酒を浴びるほど飲んで、18:30 にはバタンキュー

20:30 消灯の前に殆どが床に就きました。

いよいよ明日は、天狗岳東峰、西峰の制覇に向け、快晴を期待して・・・  
お休みなさい・・・

天狗岳二日目（3月12日）へ続く